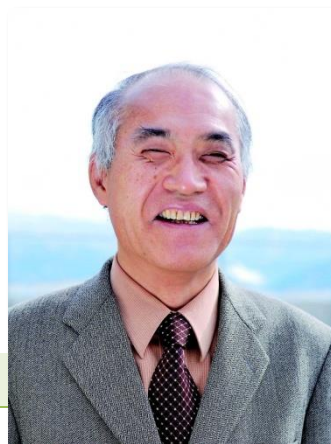


長野保健医療大学

教員紹介



氏名	金井 敏男 Kanai Toshio
職位	教授
学歴・学位・職歴	東京教育大学付属盲学校 高等部専攻科 理学療法学科 職歴 長野県厚生連 リハビリテーションセンター鹿教湯病院 信州大学医療技術短期大学部 理学療法学科 非常勤講師 筑波技術短期大学視覚部 理学療法学科 非常勤講師 長野大学産業福祉学部 社会福祉学科 非常勤講師 長野医療技術専門学校 長野保健医療大学
担当科目	理学療法概論、理学療法基礎セミナー、地域理学療法学Ⅰ（概論） 地域理学療法学Ⅱ（維持期の理学療法）、地域理学療法学Ⅲ（施設・ 在宅の理学療法）、理学療法治療学（脳血管障害）、理学療法教育管 理学、理学療法研究法演習（卒業研究）
研究分野	神経系の理学療法 地域リハビリテーション 補装具学 教育管理学
業績	受賞歴 第8回 理学療法と作業療法賞 長野県保健衛生事業功労賞 第27回 日本理学療法士協会賞 【学術・研究活動(執筆系)】 ◎著書 ・脳卒中最前線 第1版（共著）、医歯薬出版（1987） ・脳卒中最前線 第2版（共著）、医歯薬出版（1994） ・脳卒中最前線 第3版（共著）、医歯薬出版（2003） ・脳卒中最前線 第4版（共著）、医歯薬出版（2009）

- ・機能訓練マニュアル（共著）、長野県国保地域医療推進協議会（1988）
- ・家庭の医学（国民医学大事典）（共著）、保健同人（1990）
- ・理学療法ハンドブック（ケーススタディー）（共著）、共同医書出版（1994）
- ・在宅リハビリテーションマニュアル（共著）、長野県国民健康保険団体連合会（1994）
- ・地域リハビリテーション白書2 第1版（共著）、三輪書店（1998）
- ・認知リハビリテーション2000（共著）、新興医学出版社（2000）

◎論文

○単独・筆頭執筆

- ・中枢神経障害の機能回復訓練における概念的考察、長野県理学療法士会学術誌 8（1980）
- ・臨床実習施設としての実習学生に対する評価法の試み、長野県理学療法士会学術誌 10（1983）
- ・鹿教湯病院における理学療法学科学生臨床教育（臨床教育システムおよびスケジュールの紹介と学生についての評価法の試み）、理学療法と作業療法 17. 12（1983）
- ・短下肢装具の検討（片麻痺患者に用いた経験から）、理学療法 3. 5（1986）
- ・脳損傷患者のコミュニケーション障害と理学療法上の考慮点、理学療法学 18. 3（1991）
- ・不定愁訴症候群に対する理学療法の考慮点、理学療法 11. 3（1994）
- ・維持期のリハビリテーションを考える（中枢神経障害を中心に）、臨床看護 11（30. 13） 臨時増刊号（2004）
- ・医療技術者の卒前教育で思うこと、州嶺会誌 17（2006）

○共同執筆

- ・脳卒中リハビリテーションの現況、体育の科学 36. 2（1986）
- ・脳卒中後の運動機能障害、J. J of Sports Sciences. 5. 10（1986）
- ・脳損傷患者の持続的注意力の障害と主観状態・知的機能および日常情意行動の関連、精神医学 32. 10（1990）
- ・筋緊張亢進状態とT波との関連性について、信州大学医療技術短期大学部紀要 20（1994）

・ Behavioural inattention test (Conventional sub-tests の紹介とその問題点)、総合リハ 27.9 (1999)

・ 外傷性健忘症候群の 1 症例に対する健忘録獲得に向けての訓練、総合リハ 29.1 (2001)

* その他 随想・巻頭言 8 編

【学術・研究活動(学会系)】

◎世界理学療法学会

○共同発表

・ Clinical application of new orthosis multi-joint related suspension strap、第 10 回世界理学療法学会 (1987)

・ The development of a snow vehicle for the transportation of peoples with disability、第 13 回世界理学療法学会 (1999)

◎日本理学療法士学会

○筆頭・単独発表

・ 地域在宅老人患者検診(実態・リハビリテーション訓練の可能性の検討)、第 13 回学会 (1978)

・ 当院の臨床教育システムとその検討、第 17 回学会 (1982)

・ 補装具に対する理学療法技術(靴べら式短下肢装具の処方と適応)、第 20 回学会ナイトセミナー (1985)

* 他 共同発表 5 題

◎ 日本理学療法士協会全国研修会	* 指定発表 2 題
◎ 日本老年医学会	* 共同発表 1 題
◎ 日本リハビリテーション医学会	* 共同発表 1 題
◎ 日本失語症学会	* 共同発表 4 題
◎ 日本脳波・筋電図学会	* 共同発表 1 題
◎ 全国地域リハビリテーション研究会	* 共同発表 1 題
◎ 関東甲信越ブロック理学療法士学会	* 筆頭発表 1 題、 * 共同発表 5 題
◎ 長野県理学療法士学会	* 共同発表 5 題
◎ 長野県農村医学会	* 筆頭発表 2 題、 * 共同発表 6 題

メッセージ

理学療法士は、心身の機能と構造にアプローチしてその人の豊かな生活を創造するお手伝いをする、とてもやりがいのある仕事です。一緒に人間の幸福を探求して行きましょう。

E-mail

kanai.toshio@shitoku.ac.jp